

2020 年度免除適応コース承認申請についての概要

1. 免除適応コース承認申請

免除適応コース承認申請は、年度ごとに必要な手続きです。2020 年度に免除適応コースとして承認を希望される場合は、継続の場合も必ず期日までに手続きいただきますようお願いいたします。

2. 提出書類

- ・ 分類および申請コースによって異なります。詳細は「2020 年度承認申請時提出書類一覧」をご確認ください。
- ・ すべての様式は以下の URL に記載しておりますのでご活用ください。

URL : <http://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid929.html>

- ・ 2019 年度承認校で 2020 年度の承認申請を辞退される場合は「申請辞退届」を期日までにご提出ください。

※授業の開講がなくとも修了申請をする可能性がある学生が残っている場合は、承認申請が必要です。

3. 提出方法

- ・ 文書とメール（PDF）にて当協会までご提出ください。
- ・ 郵送方法の指定はありません（郵便・宅配便等いずれも可）。

4. 提出期限

新規校：令和 2（2020）年 1 月 31 日（金）必着

継続校：令和 2（2020）年 3 月 13 日（金）必着

※2019 年度までの承認校で 2020 年度から新しいコースを実施する場合は、「継続校」の期日までにご提出ください。ただし、事前に専門科目コースを審査する競技団体等に申請内容をご確認ください。

5. 承認通知

ご提出いただいた申請書は事務的な内容確認を経たうえで、指導者育成委員会にて審査のうえ免除適応コースとして承認されます。新規校は 3 月下旬頃、継続校は 7 月上旬頃に免除適応コース承認通知をお送りする予定です。

6. その他

申請書類は、到着した順に内容を確認させていただいております。特にご提出が集中する 3 月中旬以降は、修正依頼事項のご連絡まで 1 か月程度かかる場合もございますのであらかじめご承知おきください。

関係資料・様式一覧 * 主な変更点

- ・ 2020 年度承認申請時提出書類一覧 * 共通科目新カリキュラムを追加
- ・ 様式 1 コース全体申請書 * 注意事項を追記
- ・ 様式 2 コースごとの鑑文
- ・ 様式 3 科目内容対応表 * 新共通科目カリキュラムを追加
- ・ 様式 4 講師名簿 * AT コース用の名簿を追加しました
- ・ 様式 5 講師個票(講師基準) * 講師基準を変更(新共通科目カリキュラムを追加)
- ・ 様式 6 【分類 D のみ】非常勤講師就任証明書
- ・ 様式 7 【AM】別紙申請書
- ・ 様式 8 AM 養成主任講師個票
- ・ 様式 9 チェックリスト
- ・ 様式 10 申請辞退届
- ・ 他 アスレティックトレーナーコース関係資料一式

※2020 年度版の様式をご使用ください。

URL : <http://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid929.html>

申請書類作成方法・特に注意いただきたい点について

- | | |
|------------------------------|--------|
| i . 申請書類の提出について | ... P3 |
| ii . 共通科目カリキュラム・養成主任について | ... P4 |
| iii . 共通科目内容対応表(新カリキュラム)について | ... P5 |
| iv . 共通科目内容対応表(旧カリキュラム)について | ... P6 |
| v . 専門科目カリキュラムの改定(移行)について | ... P7 |

i. 申請書類の提出について

申請するコースごとに、必要書類一式を揃えてご提出ください。

※共通科目と専門科目で、共通するシラバスや講師個票がある場合についても、それぞれのコースごとに必要書類を揃え、添付してください(共通科目の新カリキュラム、旧カリキュラムを並行して申請する場合も同様です)。

※専門科目(ジュニアスポーツ指導員、アシスタントマネジャー、アスレティックトレーナー以外)については、必要書類③～⑧の写しをコースごとに提出ください。

(例) 共通科目Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲコース及びジュニアスポーツ指導員コースを申請する場合

	共通Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ	ジュニアスポーツ指導員
① コース全体申請書	まとめて1部	
② 変更点一覧(自由書式)	まとめて1部	
③ コースごとの鑑文 ※注1	コースごと	コースごと
④ 科目内容対応表	コースごと	コースごと
⑤ シラバス	コースごと	コースごと
	※共通科目とジュニアスポーツ指導員コースで共通するシラバスがある場合でも、それぞれのコースに添付が必要	
⑥ 講師名簿	コースごと	コースごと
⑦ 講師個票	コースごと	コースごと
	※共通科目とジュニアスポーツ指導員コースで、共通する個票がある場合でも、それぞれのコースに添付が必要	
⑧ 非常勤講師就任証明書	コースごと	コースごと
	※共通科目とジュニアスポーツ指導員コースで、共通する非常勤講師就任証明書がある場合でも、それぞれのコースに添付が必要(どちらかのコースに原本があれば、片方のコースはコピーでの添付可能)	
⑨ ③～⑧の写し(1部) ※注2	不要	不要

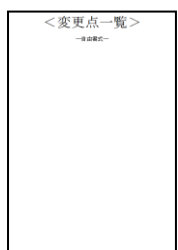
※注1⇒様式集の中の、コースごとの鑑文がございましたのでご使用ください。

※注2⇒ジュニアスポーツ指導員コース、アシスタントマネジャーコース、アスレティックトレーナーコース以外の専門科目が対象です。当該競技団体に精査を行いますので、③～⑧の写し(コピー1部)をコースごとに提出ください。

【書類提出のイメージ】

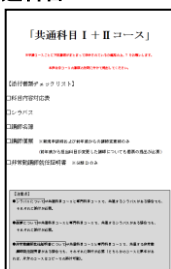


①コース全体申請書



②変更点一覧

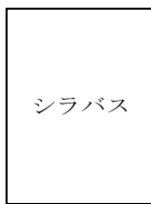
共通科目Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲコース(コースごとに書類をまとめる)



③コースごとの鑑文



④科目内容対応表



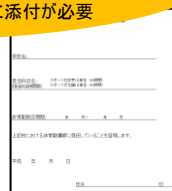
⑤シラバス



⑥講師名簿



⑦講師個票



⑧非常勤講師
就任証明書

共通科目と専門科目で、共通する⑥、⑦、⑧の書類がある場合についても、それぞれのコースごとに添付が必要

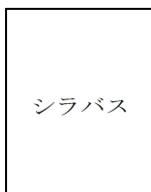
ジュニアスポーツ指導員コース(コースごとに書類をまとめる)



③コースごとの鑑文



④科目内容対応表



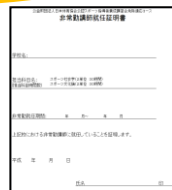
⑤シラバス



⑥講師名簿



⑦講師個票



⑧非常勤講師
就任証明書

共通科目と専門科目で、共通する⑥、⑦、⑧の書類がある場合についても、それぞれのコースごとに添付が必要

ii. 共通科目カリキュラム・養成主任について

●2020 年度以降に新規校として申請する場合は、旧カリキュラムでの申請は受け付けません。

●新カリキュラムへは 2024 年度までに完全移行することし、旧カリキュラムでの免除適応コース承認申請及び修了証明書発行申請は 2023 年度まで可能なこととします。

●新カリキュラムでの免除適応コース承認申請にあたっては、各学校に1人以上の養成主任(コーチデベロッパー)の配置をお願いします。ただし、共通科目Ⅲコースは 2023 年度まで、共通科目Ⅱコースは 2025 年度までは、配置を猶予します。共通科目Ⅰコースは、各学校の配置状況に鑑み、2026 年度以降で配置義務付けの開始年度を決定します。

●同一年度に旧カリキュラムを履修する学生と新カリキュラムを履修する学生が存在する場合、承認申請は原則両方のカリキュラム申請に必要な書類を提出いただくこととします。

ただし、以下の場合は、旧カリキュラムの書類の提出を免除します。

- ・旧カリキュラムを履修してきた学生は在学中であるものの、前年度までに対応する単位を全て修得済みであり、当該年度に旧カリキュラムを履修する学生がいない場合

	1年生	2年生	3年生	4年生	承認申請
2019年度	【旧カリキュラム履修】 - 修了証明書の発行 - 修了証明書発行料あり - 卒業年次の申請 - 検定試験なし				旧
2020年度					旧
2021年度					新+旧
2022年度					新+旧
2023年度	【新カリキュラム履修】 - 修了証明書の発行なし（発行料なし） - 在学中の申請可 - オンラインテストあり - リファレンスブックの購入				新 *旧は免除
2024年度					新

- ・新カリキュラムで申請する共通科目コースが旧カリキュラムの共通科目コースと同等かそれ以上の場合

[旧:共通Ⅰ+Ⅱ⇒新:共通Ⅱ or 共通Ⅲ][旧:共通Ⅰ+Ⅱ+Ⅲ⇒新:共通Ⅲ]

	1年生	2年生	3年生	4年生	承認申請
2019年度	【旧カリキュラム履修】 - 修了証明書の発行 - 修了証明書発行料あり - 卒業年次の申請 - 検定試験なし				旧
2020年度					旧
2021年度					新 *旧は免除
2022年度					新 *旧は免除
2023年度	【新カリキュラム履修】 - 修了証明書の発行なし（発行料なし） - 在学中の申請可 - オンラインテストあり - リファレンスブックの購入				新 *旧は免除
2024年度					新

iii. 共通科目内容対応表(新カリキュラム)について

特に以下の点にご注意いただき、共通科目内容に対応する免除申請内容を記載してください。

- 様式右上部分で、申請する共通科目コースをプルダウンで選択ください。
(旧カリキュラムでは「共通科目Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲコース」や「共通科目Ⅰ＋Ⅱコース」と表現していましたが、新カリキュラムでは「共通科目Ⅲコース」や「共通科目Ⅱコース」と表現します。)
- 「コーチングを理解しよう」「グッドコーチに求められる医・科学知識」「現場・環境に応じたコーチング」それぞれの区分ごとに対応する免除申請内容を記載してください。共通科目内容の詳細は、リファレンスブックや「様式3 科目内容対応表」内の「【新】共通科目(参考)」のシートをご覧ください。一つの講義が区分をまたいで対応することも可能です(例: コーチング論にて「コーチングを理解しよう」20時間、「現場・環境に応じたコーチング」10時間を対応)。
- 申請する共通科目コースに応じて、総時間数と「コーチングを理解しよう」の時間数が以下の時間数を超過しているかご確認ください。

	総時間数	コーチングを理解しよう
共通科目Ⅰ	45時間	16時間
共通科目Ⅱ	135時間	46時間
共通科目Ⅲ	150時間	51時間

*「グッドコーチに求められる医・科学知識」「現場・環境に応じたコーチング」の最低時間数は設定しませんが、
極端な偏りがないよう、ご配慮ください。

(その他)

特に「コーチングを理解しよう」の共通科目内容における講義については、アクティブ・ラーニング形式を活用することをお願いいたします。

【参考】

[illegible]

iv. 共通科目内容対応表(旧カリキュラム)について

特に以下の点にご注意いただき、共通科目内容に対応する免除申請内容をご記入ください。

- 当協会養成講習会の共通科目内容が、免除申請する講義の何回目に対応するかを対応表にご記入ください。
(下部参考例の赤枠部分、共通科目コース(旧カリキュラム)のみ本対応をお願いいたします)

- 申請する共通科目コースに応じて、総時間数が以下の時間数を超えているかご確認ください。

	総時間数
共通科目 I + II	70時間
共通科目 I + II + III	152.5時間

【参考】

[様式3(旧)]

公認スポーツ指導者養成講習会 共通科目免除申請 科目内容対応表(共通 I + II) ※参考例

免除申請する 講義名 (学校での講義名)	共通科目内容	対応時間 (h)	シラバス との対応 (第○回)	担当教員	備考
スポーツ社会学	1 I-1-① スポーツの概念と歴史	2	1	体協 一郎	今年度より講師変更
	2 I-1-② 文化としてのスポーツ	2	2		
	22 II-1-① 社会の中のスポーツ	2	3		
	34 II-5-③ 障害者とスポーツ	4	6,7		
コーチング論 I	3 I-2-① スポーツ指導者とは	2	1	体協 二郎	
	4 I-2-② スポーツ指導者の倫理				
	5 I-2-③ 指導者の心構え・視点	2	2		
	6 I-2-④ 世界の舞台をめざすアスリートの発掘・育成の重要性と指導者の役割	4	5,6		
	14 I-6-① 指導計画のたて方	2	9		
コーチング論 II	15 I-6-② スポーツ活動と安全管理	2	12	体協 三郎	
	24 II-2-① スポーツ事故におけるスポーツ指導者の法的責任	4	10,11		
トレーニング科学	25 II-2-② スポーツと人権	2	2	体協 四郎	
	7 I-3-① 体力とは	2	1		
	8 I-3-② トレーニングの進め方	4	2,3		
発育発達論	9 I-3-③ トレーニングの種類	6	4~6	体協 四郎	
	16 I-7-① 発育発達期の身体的特徴、心理的特徴	2	1		
	17 I-7-② 発育発達期に多いケガや病気	2	2		
	18 I-7-③ 発育発達期のプログラム	2	3		
	13 I-5-① スポーツと栄養	4	7,8		
	32 II-5-① 中高年者とスポーツ	2	9		
スポーツ医学	33 II-5-② 女性とスポーツ	4	14,15	体協 華子	非常勤講師
	10 I-4-① スポーツと健康	2	1	体協 五郎	
	11 I-4-② スポーツ活動中に多いケガや病気	4	5,6		
スポーツ心理学	12 I-4-③ 救急処置	4	12,13		
	26 II-3-① スポーツと心	2	1	体協 太郎	
	27 II-3-② スポーツにおける動機づけ	2	4		
スポーツ経営学	28 II-3-③ コーチングの心理	4	7,8		
	29 II-4-① 総合型地域スポーツクラブの育成と運営	4	4,5	体協 六郎	
	30 II-4-② スポーツ組織のマネジメントと事業のマーケティング	4	6,7		
	20 I-8-② 総合型地域スポーツクラブの必要性和社会的意義	2	2		
	21 I-8-③ 地域におけるスポーツクラブとしての「スポーツ少年団」				
	31 II-4-③ スポーツ事業のプロモーション	4	13	体協 八郎	
	19 I-8-① 地域におけるスポーツ振興方策と行政のかかわり	2	1		
	23 II-1-② 我が国のスポーツプロモーション	4	3		
		94h			

v. 専門科目カリキュラムの改定(移行)について

一部の専門科目コースのカリキュラムについても改定(移行)される予定です。

改定内容やスケジュールに関しては、順次日本スポーツ協会や専門科目コースの審査団体(中央競技団体等)からご連絡します。

【現時点の予定】

《日本スポーツ協会が審査する専門科目コース》

- ・ ジュニアスポーツ指導員⇒変更内容通達済み(移行期間 2019～2022 年度)
- ・ アシスタントマネージャー⇒変更検討中(2020 年度申請では変更なし)
- ・ アスレティックトレーナー⇒変更検討中(2020 年度申請では変更なし)

《日本スポーツ協会以外が審査する専門科目コース》

- ・ 水泳コーチ1⇒新カリキュラム対応表あり。詳細は日本水泳連盟からのご案内をお待ちください。

その他の専門科目コースも変更検討中のものがございます。お急ぎの確認が必要な場合は、専門科目コースの審査団体にお問い合わせください。